

## 愛犬との初泊り

12/20/2015

北村社会福祉士事務所

代表 北村弘之

妻が3年前の退職後に飼った柴犬「ハル」。家にとっては、2代目のワンちゃんです。当初、家の外で飼う予定がいつの間にか、家の中で暮らすことになって早3年が経ちました。大きな犬小屋に我々夫婦が住まわせてもらっている感じさえ受けますが、今では3人目の子どものように可愛がっています。

娘の孫たちも犬が大好きとあって、家に来るたびに一緒に散歩に出かけてくれます。また、息子も自宅に来るたびにかまってくれ、「ハル」にとっては、よい遊び相手となっています。但し、最初の10分ほどですが、あまりのしつこさに最後は部屋の隅に「ハル」の方が退散です。

我々はハルを飼い始めてから、旅行時にはわんちゃんホテルに預けていきましたが、今回初めて一緒に連れていくことにしました。どんなところに泊まったらいいのか、また途中でどうすればよいかいろいろと情報収集しました。雑誌に載っているわんちゃんホテルの写真は小型犬中心で、繊細な柴犬の泊まっている様子は少ないようでした。今回の主人公は「ハル」なので、小規模なホテルがよいのではないかとということで、泊り先を変更しました。現地に行くとご主人が丁寧に迎えて下さいました。何とすでに20年前から、専門のわんちゃんホテルを経営しているということでいろいろアドバイスをいただきました。

季節はずれの11月下旬。場所は、山中湖です。長距離でのドライブはもちろん初めてでしたので、海老名SAや道の駅(須走)と30分ごとに車を止めては近くに散歩です。多分、車に乗って楽しんでいるのは夫婦であって、ハルは迷惑なのでしょう。そんな思いに気を使いながらの旅となりました。

山中湖では、別荘地の落ち葉の中や、湖のほとりに散歩に行き、憩のひと時でした。富士山の絶景も見え大満足でした。もちろん部屋の中でも一緒ですので、最初のうちは部屋の中のおいを嗅ぎまわっていました。もちろん慣れることに努めていたのでしょう。食事処でも、リードでつながれているものの我々と一緒です。風呂とトイレ以外は一緒にいるので、まったく自宅と同じでした。ただ、違うのは、ベットも一緒だったことです。不安なのか、私がベットに入るや、「ハル」がベッドの上に乗って来て横になるのです。そのため、一晩中寝返りもままならず、「ハル」が寝返りするたびに、私は目を覚ますのです。そんなこんなで、朝は早く起き、山中湖迄散歩となりました。

来年の夏は、また「ハル」と一緒に避暑地で一緒に過ごせるのを楽しみにしています。

以上



須走の「道の駅」のドックラン

柴犬は、秋田犬や紀州犬と同様、天然記念物なのです。



わんちゃんホテル前



生後3か月の時

ホテルの中には、わんちゃん用のプールやプレイルームがありました。プレイルームでは、ここの主のねこちゃんがお迎え。互いに見つめ合うひと時も・・・